

上田未来学ゼミ #4【まとめ】

日 時 令和2年12月25日（金）19：00～20：45
 配信会場 まちなかキャンパスうえだ（Zoomによるオンライン配信）
 参加人数 8名（このほかスタッフ2名参加）

【オンラインワークショップ…約100分】

テーマ：とりあえず、入ってみる～人とつながるきっかけとは～

講師：酒井 朝羽 氏（軽井沢風越学園インターンスタッフ）

<講師による経験談・活動内容の紹介>

- ・信州大学教育学部の大学院に進学、研究よりも実践に重きを置いて今年9月から軽井沢風越学園のインターンスタッフとして活動している。
- ・「つながり」の原点は高校時代、国際サマープログラム「HLAB OBUSE」に参加し、本音で話せる場に出会ったことがきっかけで、「長野高校生会議」も企画・開催した。
- ・大事だと思っていることは、興味ある人と「つながる」こと、気になったら迷わず連絡してみる、会ってみて自分で判断して「つながる」ことなどに心掛けている。
- ・現在はコロナで制限ある中、「フィールドワーク」や「演劇」を通して表現することを学ぶなど、「伸び伸び楽しく」を理想とした学びを創造できるよう実践している。



<参加者との質疑応答や今後の活動展開について>

- 発達障害を持つお子さんのサポートなど、カウンセラーの仕事で大切と考える事は？
→単に話を聞くだけでなく、背景を考え、「相手の気持ちを理解する」ための対話の機会を持って丁寧に対応することが大切だと思う。
- 軽井沢でのフィールドワークを、どのように展開していくか？
→学園には移住してきた子どもが4割ほどいるため、旧軽井沢やアウトレットなど散策しながら、店や人のマッピングなど、移住者の目線も取り入れながら創っていきたい。
- 風越学園について、どのように思っているか？
→既存の学校の枠組みではない、異年齢での学びなど自由に組み立てられる一方、特定の場に留まるというクラス概念もなく、関係性を築く難しさもある。解決策として、例えば同じメンバーで「舞台」を作り上げるなどの協働学習も有効と考えている。

総括（講師による全体まとめ）

- ・「つながり」の中で自分が出来てきたと思っているので、今後も地域との「つながり」や教育の「つながり」を大切にしながら実践を積み重ねて行きたい。
- ・共感できる仲間、キーパーソンとの出会いの場を広げていってほしい。